

巻頭インタビュー 人と山

山下ようこさん

社会の仕組みに、森の素晴らしさを取り入れたい。



御岳山のレンゲショウマを背景に (2013年8月28日撮影)



ケーブルカーを降りて武蔵御嶽神社の参道へと入る。緑が豊かだ

講演会を開いたり、森林浴ウォークを企画したりと、「環境、農業、緑化」をテーマに活動をしている人がいる。アナウンサー、園芸アドバイザーなど、幅広い分野で働いている前東京都議会議員の山下ようこさんだ。

週刊ヤマケイ（以下 W）：環境や緑化などを代表的な取り組みとして、政治の世界で活躍されているかたは少ないと思いますが、主にどのようなことに取り組まれているのでしょうか。

山下（以下、Y）：都議会議員のときは、森の再生や、オフィスビルの室内緑化の推進などに努めてきました。「植物の力を社会に」といった観点から、地球環境と働く人の関係を見直せたらとも考えています。

健康を損なってしまい仕事を病欠されたり、退職なさるかたも多い時代ですが、緑の力で人が元気になる、老後も元気に過ごせるといった世の中を作るために、尽力できればと思います。

…

W: そうした活動ができるのも、山下さんご自身が、自然の素晴らしさを体感されているからこそだと思います。ご自身の自然体験はどのようなものでしたのでしょうか。

Y: 東京の立川で生まれ育って、動植物や花に親しみながら育ったことが、「生態系と人間の共存」のようなことを考える原点となりました。小学生のころ、熱心な担任の先生に連れられて、高尾山、御岳山、高水三山などに登りました。子どもたちだけで出かけたこともありましたよ。

政治の世界に進みたいという思いも早くから芽生えていましたが、千葉大の園芸学部に進んで、酸素を生み出す植物の素晴らしさや、命ある生物たちの魅力を再確認できたことも大きかったですね。

…

W: 緑と関係した様々な催しを企画されていますが、次の催しは東京、御岳山での森林浴ウォークですね。6月1日と3日の2回ということですが、どんな内容ですか。

Y: はい、入梅前のいい季節に企画しました。武蔵御嶽神社の神主さんのご案内もいただきますし、緑のなかをゆったり歩いて、温泉でものんびり。

ミズナラ、コナラ、カエデなどの新緑が美しいころです。花はウツギ、ガクウツギ、マルバウツギなどの白い花に加えて、ヤマツツジのオレンジ色も楽しめます。鳥はオオルリ、クロツグミ、ウグイス、他の鳥の鳴きまねも上手なキビタキの声も聞けそうです。クロアゲハ、カラスアゲハなどの蝶も飛ぶ季節ですね。ご興味のあるかたは、ぜひ、ご参加ください。

(聞き手=久保田賢次・『週刊ヤマケイ』編集長)

山下ようこ (やました・ようこ)

1958年、東京都立川市生まれ。千葉大学園芸学部園芸学科卒。花卉園芸学専攻。花の栽培や色素の研究をはじめ、田植え、稲刈り、野菜、果樹など、あらゆる農業実習を体験する。卒業後は民放ラジオ局のアナウンサーに。以後、約20年間、ニュース報道に携わる。2009年の東京都議会議員選挙で青梅市選挙区から初当選。2012年3月、新会派「緑の地球クラブ」を結成。

<http://www.yamashita-yoko.com/>

地元専門ガイドが同行する御岳森林浴ウォーク

6月1日(調布発バス)、6月3日(東大和発バス)、
参加費 5,990円、食事なし、添乗員同行、最少催
行人員 25名

電話 042-523-1491 読売旅行立川営業所 (担当、
金川)

観光庁長官登録旅行業 第91号

巻頭インタビューテンプレート（140115 修正）

<http://www.yomiuri-ryokou.co.jp/branch/detail/index.aspx?egy=21000>